

# 馬主だより

第62号

平成26年1月24日

発行(一社)ばんえい競馬

馬主協会事務局

## ☆2014年ばんえい十勝新ステージの幕開け 新たなる挑戦へ！！

▼2014年決意も新たにいよいよ新年がスタートしました。皆様にとってはどのような1年の始まりでしたか?ご家族ともどもお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。▼ばんえい十勝は、お陰様をもちまして7回目の新春を迎えることができました。これまでも様々なご支援いただきました全国各地のファンの皆様に対し改めまして心より感謝とお礼を申し上げます。“誠に有難うございました。”これからもばんえい十勝の魅力と迫力あるレースをより多くの人々にお届けいたします。どうぞ本年もご期待ください!!▼さて、今年は緩やかな景気回復の持続が見込まれる中で、道内の経済も少しずつではありますが、確実に明るさを取り戻しています。ばんえい競馬を取り巻く環境も徐々に改善に向っているものの楽観はできません。4月からの消費税増税や払戻し率変更などがどのような影響を与えるのか、未だ先行きは不透明ですが、成長し続けるためには新たなことへの挑戦を怠ってはならない。新たな挑戦には必ず批判が伴うもので、批判を恐れず数多くの難題にも臆することなく生き残りを賭け果敢に挑戦することが大切です。▼ばんえい十勝が将来に向けて大きな夢を持ち、それに向って着実に突き進む勇気と情熱を以ってまた一年精進する日々が続きます。▼“優駿たちの軌跡”心に残る名馬たちの活躍をこれからもしっかりとその目でご覧ください。

平成25年度 ばんえい競馬 発売成績(累計)

開催125日間

CB事業推進課投票グループ 資料提供

平成26年1月20日終了時

区分	発売金額							
	平成25年度			平成24年度		対比		
	日数	発売額	予算額	日数	発売額	予算	前年	
本場	125	1,302,431,900	1,194,305,800	125	1,360,426,900	109.05	95.74	
直営場外	旭川北彩都	125	803,789,700	750,674,700	125	813,633,800	107.08	98.79
	ミトスポット北見	125	389,706,300	361,144,600	125	400,729,400	107.91	97.25
	ハロンス岩見沢	125	251,588,800	241,583,000	125	313,890,100	104.14	80.15
	ハロンス釧路	125	108,083,900	110,693,300	125	129,597,700	97.64	83.40
	ハロンス名寄	125	127,626,700	122,229,200	125	152,910,200	104.42	83.47
	アプスポット網走	125	123,859,100	119,176,100	125	114,168,400	103.93	108.49
	琴似駅前	125	93,744,300	89,284,600	27	15,626,000	104.99	599.9
	イルムふかがわ	66	68,174,300	63,094,000	—	—	108.05	—
電投	オッズパーク	125	3,068,500,700	2,866,179,200	125	2,562,958,700	107.06	119.72
	OP(七重勝)	125	35,297,500	95,150,300	21	1,586,100	71.44	2225.4
	OP(五重勝)	125	32,674,200		125	79,049,100		41.33
	競馬モール	125	1,705,996,400	1,593,846,600	125	1,237,816,200	107.04	137.82
広域場間場外	—	1,324,751,300	1,209,205,900	—	1,380,317,300	109.56	95.97	
場外・電投計	—	8,133,793,200	7,622,261,500	—	7,202,283,000	106.71	112.93	
合計	125	9,436,225,100	8,816,567,300	125	8,562,709,900	107.03	110.20	
1日平均		75,489,801	70,532,538		68,501,679	107.03	110.20	

平成25年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第21回6日目まで125日間)

平成24年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第21回6日目まで125日間)

## 会議等の様子

### ○ 平成25年度第5回執行役員会を開催！！

#### ～平成26年度帯広市ばんえい競馬開催に関する陳情取り纏め～

平成26年1月19日(日)午後1時30分から当協会事務局会議室において、平成25年度第5回執行役員会を開催。競走馬弔慰金事故対象馬2頭について査定を行い、原案のとおり議決承認されました。これで今年度当該事故対象馬が16頭となり、年度末まで2か月余りを残し弔慰金の支給総額は、ばんえい十勝となって以来最高額の844万円になりました。

また、平成26年度帯広市ばんえい競馬開催に関する陳情書について取り纏めを行い、同日、帯広市に陳情書を提出することとなりました。

続いて、当協会の平成25年度の決算見込推計及び平成26年度予算案概要について検討いたしました。平成26年度の予算編成にあたり、事故馬多発による共済負担金の見直しに加え、本年4月以降の消費税増税に対応する措置等について審議いたしました。

#### 【執行役員会議事】

- (1)競走馬弔慰金の査定について
- (2)平成26年度帯広市ばんえい競馬開催に関する陳情書(案)について
- (3)平成25年度決算見込み及び平成26年度予算推計について
- (4)その他

【馬弔慰金支給対象馬】 2頭 1,400,000円

内 訳				(単位;円)
馬 名	年齢	馬 主	給付別	馬弔慰金
ブラックパール	5	農)ナガモト	業務中	900,000
ハイランドスター	7	古河達幸	業務中	500,000

### ○ 帯広市へ陳情書提出！！ ～平成26年度の報償費増額を要請～

平成26年1月19日(日)午後3時から帯広競馬場委員長室において、帯広市へ平成26年度ばんえい競馬開催に関する陳情を行いました。陳情の中では、今年度これまで発売額も好調に推移しており、ばんえい競馬の経営環境は以前に比べ確実に改善傾向にあると推測できます。一方で、当協会は現況の競走馬減少は極めて深刻な問題と捉えており、一義的には競走馬を確保することへの対応が急務であり、早期改善の必要性を訴えるとともに来年度の報償費総額については、増額するよう求めました。

なお、陳情の項目については、以下のとおりです。

#### 【平成26年度帯広市ばんえい競馬開催に関する陳情事項項目】

1. 報償費について
2. 優先課題としての競走馬の確保
3. 経営責任を果たすあるべき姿
4. 経営状況の適時開示
5. 開催計画等の公表
6. 関係団体等との連携再構築
7. 広報PR活動の重要性

## 情報・ご案内

### ○ 1月11日以降も薄暮開催実施中！！

#### ～インターネットによる発売好調のため3月17日まで継続～

今年度ナイター開催終了後の昨年11月23日から薄暮開催(通常のデイ開催より約2時間遅く)を実施し、これまでインターネット発売を中心に発売額が好調であったことから、年末年始のデイ開催終了後の1月11日から3月17日まで、再び薄暮開催を通常のデイ開催より約1時間程度遅い形で継続実施しています。

第1レースの発走時刻は、基本的に午後1時05分から最終第11レース発走時刻午後6時40分までとなっています。(発走時刻は変更となる場合があります。)

例年正月開催が終了すると発売額が一旦落ち込む傾向にありますが、1月11日(土)から20日(月)までの6日間の平均発売額は7580万円(前年比24.2%増)と昨年度までの落ち込みは見られず、薄暮開催が功を奏しこれまで順調に推移しています。

### ○ 赤塚 健仁騎手 自らの誕生日に“通算100勝達成”！！

平成23年デビューの赤塚 健仁騎手は、23歳の誕生日となる2013年12月21日(土)第1競走シンエイパワー号に騎乗し、通算100勝を達成致しました。

2011年デビュー同期の島津 新騎手、西 将太騎手に次いでの100勝達成。

重賞競走は7回騎乗のうちまだ未勝利ですが、着実に経験を積み、本年度は連対率4位に位置しております。(2013年12月16日現在)

デビュー3年目通算騎乗940戦目で、23歳の誕生日に嬉しい100勝達成の節目となりました。今後にも期待いたします。

#### ■【赤塚 健仁騎手のプロフィール】

生年月日 :1990年12月21日(23歳)

出身地:北海道根室市

所属厩舎: 久田 守

初騎乗:2011年1月8日 スーパーコマチ号

初勝利:2011年1月15日 エンジュオウカン号

通算成績:940戦100勝

※2013年12月21日第1R現在

### ○ 大河原騎手「第46回日本プロスポーツ大賞」功労賞を受賞！

大河原 和雄騎手(53)は、財団法人日本プロスポーツ協会(会長:島村 宜伸)が実施する「2013年第46回日本プロスポーツ大賞」の功労賞を受賞。表彰式は昨年12月27日東京都内で行われました。

同賞は、プロスポーツ界の健全な発展及び振興に寄与することを目的として1968年から、毎年開催されているもので、プロスポーツ各界の成績優秀者が受賞する大変名誉ある賞として知られています。

大河原騎手は1985年デビューし通算成績24,395戦2,989勝(2013年12月30日現在)で、これまで獲得した重賞タイトルは46勝と数多く、今年はショウチシマシタ号でイレネー記念を、コウシュハクイーン号でばんえい大賞典を、また、カネサマドカ号でクインカップをそれぞれ制し、ばんえい史上三人目となる通算3,000勝達成も残り僅かに迫っています。

同功労賞の受賞は、ばんえい十勝からは過去に坂本 東一騎手(2007年:現調教師)と藤本 匠騎手(2010年)以来3人目となりました。

## ○ 岡田調教師 1,500 勝達成！

### 藤本騎手は史上最多勝記録 3,500 勝達成の快挙！

岡田 定一調教師は、2014年1月3日(金)第10レース重賞競走「天馬賞」(BG1)で管理馬ホクショウユウキ号が優勝しばんえい史上三人目となる通算1,500勝を成し遂げました。

また、藤本 匠騎手は、2014年1月1日(木)第6レースヒマワリギャルコ号に騎乗し、ばんえい史上最多勝記録で前人未到の通算3,500勝の快挙を達成しました！！

今後どこまでこの記録を伸ばすことができるのか、ご活躍に期待しましょう。

#### ■【岡田 定一調教師のプロフィール】

生年月日：1944年9月16日

出身地：北海道常呂郡訓子府町

調教師デビュー：1973年5月6日

1,000勝達成：2006年12月16日

調教師通算成績：13,636戦 1,500勝 ※2014年1月3日第10R終了時

主な重賞(調教師)：1990年 帯広記念(管理馬：ヒカルテンリュウ号)

2000年 イレネー記念(管理馬：スミヨシセンショウ号)

2013年 柏林賞、はまなす賞、銀河賞、天馬賞

(管理馬：ホクショウユウキ号)など、24勝

#### ■【藤本 匠騎手のプロフィール】

生年月日：1962年2月9日

出身地：北海道札幌市

初勝利：1983年4月29日

1,000勝達成：1994年9月10日

2,000勝達成：2003年2月25日

3,000勝達成：2010年7月3日

通算成績：26,590戦 3,500勝 ※2014年1月1日 第6R終了時

主な重賞：1992年農林水産大臣賞典(テンショウウリ号)

2002年第34回ばんえい記念(サカノタイソン号)

岩見沢記念(5回)、北見記念(4回)、旭川記念(3回)

帯広記念など49勝

受賞歴：2010年 第43回日本プロスポーツ大賞功労賞受賞

NAR グランプリ 2010 特別賞受賞

## ○ 2014年お正月開催 “天候にも恵まれ午年好調にスタート” ～6日まで入場者数4割増 発売額も13.2%増額！！～

2014年午年のばんえい十勝お正月開催は、元日から6日までの恒例となっている連続開催を実施。この6日間の成績は、馬券の発売額が6億3905万円(前年比13.2%増)と1日平均1億円を上回りました。また、入場人員は1万3147人(前年比35.6%増)と全国各地から多くの来場者により前年の4割増となりました。

発売額、入場者数ともに幸先の良い好調なスタートを切りました。

元旦は、午前 10 時 30 分の開門と同時に約 150 人の来場者が詰め掛け、帯広平原太鼓の演奏とお神酒や甘酒など振る舞いでファンを出迎えました。

1 月 2 日には当協会が“新春初夢抽選会”を実施するなど今年初の重賞競走「帯広記念」(BG1)が行われ、今年度最高となる 1 億 6860 万円の売り上げを記録しました。

## ○ 新馬登録申請 現在受付中“2月末日まで”

### ～第1回能力検査受検予定の馬は、お早めに申請ください！！～

現在、帯広競馬場において、来年度デビューを迎える新馬の登録申請の受付を随時行っています。まだ申請を終えていない馬主各位には、必ず預託調教師を通じて申請をお願いいたします。

なお、第1回能力検査を受検するには、上記申請締切日までに申請し、3月に実施する定期馬登録検査を必ず受けてください。以上ご注意のうえお早めに申請ください。

#### 【馬登録申請日程】

1. 申請締切日：平成 26 年 2 月 28 日（金）まで（期日を厳守ください）
2. 申請場所：帯広競馬場 地方競馬全国協会駐在員詰所（発送員室）

#### 【定期馬登録検査日程及び場所】

検査日時	検査場所
平成 26 年 3 月 12 日（水）9：00 ～ 平成 26 年 3 月 13 日（木）9：00 ～	帯広競馬場 装あん所
平成 26 年 3 月 26 日（水）9：00 ～ 平成 26 年 3 月 27 日（木）9：00 ～	

上記馬登録申請、馬登録検査に関するお問い合わせ、連絡先は次のとおりです。

地方競馬全国協会 駐在員 佐々木 智  
電話：(帯広競馬場代表) 0155-34-0825まで  
駐在員の勤務日は別途競馬場に掲示しています。

## ○ 日本馬事協会内国産農用種雄馬購買馬決定！！

### ～アローファイター号十勝へ、イサムフジ号釧路へ配置～

平成 26 年 1 月 14 日(火)帯広競馬場におきまして、公益社団法人日本馬事協会が購買する、平成 25 年度内国産農用種雄馬が決定されました。

今年度は、アローファイター号とイサムフジ号の 2 頭が購買となりました。なお、購買馬の引き渡しは、イサムフジ号が 2 月 18 日(火)、アローファイター号は 3 月 25 日(火)にそれぞれ帯広競馬場で予定しております。なお、購買の結果及び配置先については、次のとおりです。

#### 【平成 25 年度公益社団法人日本馬事協会購買決定馬】

購買馬名	年齢	クラス (万円未満)	馬主	配置先団体
アローファイター	10	250	長澤 廣茂	十勝農業協同組合連合会
イサムフジ	11	150	渡邊 勇	釧路農業協同組合連合会

## ○ NARグランプリ2013 ばんえい最優秀馬“カネサブラック”受賞！！

地方競馬全国協会は、1月14日(火)、2013年に国内地方競馬で活躍した人馬を表彰する“NARグランプリ2013”の受賞馬が決定しました。

ばんえい十勝の最優秀馬は、帯広記念に続いて、ばんえい最高峰のばんえい記念にも快勝、ばんえい重賞勝利数記録となる21勝目を挙げて昨年引退したカネサブラック号(牡11歳 馬主(有)トヨーファーム 松井きゆう舎)が選ばれました。これで3年連続通算4回目の受賞となりました。

表彰式は、2月6日(木)東京都内のホテルで挙行されます。

### <カネサブラック号のプロフィール>

生年月日:2002年3月30日(牡11歳)

血統:父 カネサスピード 母 カネサウイン(母父 カゲイサム)

生産者:(株)坂井牧場(北海道旭川市)

馬主:(有)トヨーファーム

厩舎:松井 浩文 きゆう舎

通算成績:186戦 72勝(うち重賞21勝)

重賞勝鞍:2013年 帯広記念、ばんえい記念

## ○ 1月17日十勝管内で馬パラチルス(伝染性疾病)発生が確認される ～各自消毒や健康観察を徹底し自主的に検査を～

平成26年1月17日(金)十勝管内において馬パラチルス(伝染性疾病)が発生した旨の報告を受け、帯広市は帯広競馬場内における防疫対応について、現在、下記の措置をとっています。

なお、牧場、自宅等で馬を飼養されている馬主は、当該疾病の発生予防及びまん延防止の観点から、馬の移動の際には、消毒の徹底、健康観察の徹底など感染防止に努めてください。特に十勝管内で飼養されている馬が競馬場に入厩する際には、あらかじめ健康状態に細心の注意を払うとともに当面の間については家畜保健衛生所に依頼し自主的に検査をすることをお勧めいたします。

また、飼養管理先において馬が流産した場合には、当該疾病を疑い、速やかに獣医師または家畜保健衛生所に通報してください。

【北海道十勝家畜保健衛生所:電話 0155-59-2021】

記

【ばんえい競馬開催執務委員長名 平成26年1月20日付各調教師宛て通知による】

1. 厩舎門において、車輛等の消毒を実施する。
2. きゆう舎内及び周辺の自主的な消毒及び管理の徹底をすること。
3. 発熱等の症状がある馬が発生した場合は、速やかに獣医師及び主催者に報告すること。

## レース情報

### ○ 重賞競走の結果

月 日	重 賞 名	馬 名	馬 主	調教師
12月22日	第42回 ばんえいダービー	オレノココロ	大森 勝廣	槻館 重人
12月30日	第15回 ヤングチャンピオンシップ	ブラックニセイ	山火 長藏	皆川 公二
1月2日	第36回 帯広記念	ホリセンショウ	田山 克廣	岩本 利春
1月3日	第7回 天馬賞	ホクショウユウキ	井内 昭夫	岡田 定一

**優勝おめでとうございます！！**

#### ◆ 第42回ばんえいダービー(3歳オープン)

単勝1番人気の**オレノココロ**が優勝。ばんえい大賞典、ばんえい菊花賞とともに2着だった無念を、この大一番で晴らしました。

馬場水分は2.3%でゲートオープン。各馬横一線の状態で第1障害を突破し、そのまま障害中間点へ。脚を止めつつも横一線の状態は続き、勝負どころの第2障害を迎えました。ひと呼吸入れ、真っ先に仕掛けたのはショウチシマシタ。セイコークイン、コウシュハウンカイもこれに続き、その後も続々と登坂を開始。なかでも抜群のかけを見せたのはオレノココロで、一気に障害を登り切って先頭クリアを果たします。それに遅れじとコウシュハウンカイ、ソウケンボーイも突破。内枠3頭が並ぶようにして、ゴール前の直線を迎えました。

いったんは先頭を譲る形になったオレノココロですが、残り20メートル付近で盛り返して再度先頭へ。ソウケンボーイとコウシュハウンカイもしぶとく食い下がりますが、オレノココロの脚いろは鈍らず、そのまま半馬身ほどのリードを保って荷物を運び切りました。2着はソウケンボーイで、コウシュハウンカイがさらに半馬身差の3着となりました。

オレノココロは4度目の挑戦で重賞初制覇。しかもこれまでの2冠がともに2着だっただけに、まさに“悲願”といえるもの。そのレースぶりも余裕がうかがえる堂々としたもので、着差以上の強さを感じさせました。それだけに、今後迎える古馬との対戦でも期待は高まるばかり。さらなる飛躍が期待できそうです。

2着のソウケンボーイはこれまでの2冠が今ひとつでしたが、この直前が2連勝だっただけに、今のデキのよさを生かしたものとと言えます。しかし、この大舞台で2着に食い込んだことから底力は相当。今後も重賞戦線で活躍してくれることでしょう。

ばんえい菊花賞馬コウシュハウンカイは積極的な競馬を演じ、しまいもよく食い下がりましたが3着まで。ただ、地力の高さは存分に示した格好。引き続き要注目の存在です。

#### ◆ 第15回ヤングチャンピオンシップ(2歳産駒特別選抜)

単勝3番人気、十勝産駒の**ブラックニセイ**が優勝。重賞初制覇を果たし、2歳世代の頂点に名乗りを上げました。

馬場水分は2.4%とやや低めでしたが、基礎重量590キロということもあり、道中は速めのペース。特にホクショウマサルとオオゾラシンスケはノンストップで歩き、他馬も一度脚を止めた程度で第2障害を迎えました。

ひと息入れて仕掛けたのはブラックニセイとホクショウマサル。それを見て各馬も登坂を開始しましたが、2頭はすんなりと障害を登り切り、マッチレースの様相を呈して、ゴール前の直線に向かいました。

先を行く2頭は併せ馬状態で一進一退。十勝産駒の2頭が激しい攻防を演じます。しかし残り5メートル付近でホクショウマサルの脚いろが鈍り、白熱の争いに幕。ブラックニセイが2秒2差をつけて、先頭で荷物を運び切りました。3着争いは、障害を3番手で下りたハクタイホウがしぶとい粘りを見せましたが、ゴール前でカンシャノココロが強襲。わずかに0秒4差だけ、カンシャノココロが先着しました。

ブラックニセイはナナカマド賞で6着に敗れるなど多少成績に波がありますが、十勝産駒特別2着など、随所で地力の高さを示していました。今回も2着のホクショウマサルとは10キロの重量アドバンテージがありましたが、それでもここで勝ち切ったのは実力の証明。今後も世代重賞で活躍してくれるに違いありません。

2着のホクショウマサルはナナカマド賞4着など、つねに上位フィニッシュを演じており、その堅実ぶりが魅力。敗れたとはいえ、今回も安定した行きつぱりと登坂を見せており、やはり2歳ではトップクラスの力があるといえます。引き続き目が離せそうにありません。

#### ◆ 第36回帯広記念（4歳以上オープン）

単勝9番人気の伏兵**ホリセンショウ**が優勝。2着に4番人気のキタノタイショウ、3着に3番人気のニュータカラコマが入り、3連単は39万超の大波乱となりました。

馬場水分は2.2%で、力の要る馬場状態。各馬歩いては止まりを繰り返し、出入りの激しい競馬となりました。ホクショウダイヤやインフィニティーあたりが馬群をリードしますが、ほとんど横一線。しかし中間点を過ぎたあたりで、最後に第1障害を越えたシベチャタイガーが先頭に躍り出て、ホリセンショウが2番手へ。以下は横並びの状態次第2障害を迎えました。

他馬が到達した頃合いを見計らって、ホリセンショウが積極的に登坂を開始。各馬はその様子を見ていましたが、シベチャタイガー、インフィニティー、キタノタイショウが仕掛け、展開が一気に活性化。しかし、その間にホリセンショウが登り切り、苦戦する各馬を尻目に障害を下りていきました。だいぶ遅れてシベチャタイガー、インフィニティー、トレジャーハンター、ニュータカラコマなどが次々と下山。1番人気のギンガリュウセイは8番手でクリアしました。

先頭のホリセンショウは道中で脚を止める苦しい競馬となりましたが、残り20メートル付近でも先頭。いったんはニュータカラコマに交わされそうになりましたが、それでも立て直しつつ、先頭を死守します。そして残り5メートルでまたしても歩みを止めますが、追撃するニュータカラコマ、そしてキタノタイショウも脚いろが鈍っており、かろうじて先頭をキープ。そしてゴール線上で、今度はニュータカラコマがストップ。キタノタイショウの追撃も届かず、ホリセンショウが先頭でゴールを果たしました。2秒2差の2着にキタノタイショウ、ニュータカラコマがさらに3秒6差の3着。1番人気のギンガリュウセイは“らしさ”が見られず、6着に敗れました。

ホリセンショウは今回が6度目の重賞挑戦。昨年の旭川記念、北斗賞とともに3着に入っていましたが、今回が悲願の初制覇となりました。重量面で恵まれていたのは確かですが、出入りの激しい競馬を積極的に運び、脚を止めながらも他馬の追撃をしのぎきった内容は高く評価できます。今後、重量を積まれてどうかですが、これをきっかけにさらなる飛躍を遂げる可能性もありそうです。

なお、騎乗予定の鈴木恵介騎手が病気のため、手綱を取ったのは初騎乗の島津新騎手。若手らしい大胆な騎乗が、ホリセンショウに勝利をもたらしたとも言えるでしょう。

キタノタイショウは旭川記念制覇後、今ひとつの成績が続いていましたが、ここへきて本来の末脚を取り戻した印象。ばんえい記念3着の実績はダテではなく、今後も目が離せない存在となりそうです。



岩見沢記念馬ニュータカラコマも、ここへきて復調気配。ゴール線上で脚を止めたとはいえ、勝ち馬をギリギリまで追い詰めた内容は上々と言えます。まだ6歳だけに、本格化はこれから。さらなる活躍が期待できそうです。

#### ◆ 第7回天馬賞（5歳オープン）

単勝1番人気の**ホクショウユウキ**が優勝。世代限定重賞の柏林賞、銀河賞に続く勝利で、現5歳の頂点に君臨。さらに管理する岡田定一調教師に、ばんえい史上3人目となる通算1500勝目をプレゼントしました。

馬場水分は2.0%でスタート。ニシキエーカン、ホクショウユウキ、テンカムソウが馬群をリードして進みますが、ほとんど横一線の状態で第2障害を迎えました。

最初に仕掛けたのはホクショウユウキ。すぐさまワールドピサが反応し、さらにテンカムソウも登坂を開始します。しかし、抜群のかかりを見せたホクショウユウキが先頭でクリアし、テンカムソウが2番手で下山。ワールドピサ、ニシキエーカン、ヤマノウンカイも争覇圏内で突破しました。

3番手争いは激しい攻防を繰り広げますが、先頭の2頭は快調。特にホクショウユウキは抜群の手応えのまま歩き続けます。徐々にテンカムソウが苦しくなり、3番手から抜け出してきたニシキエーカンが残り20メートル付近で2番手に浮上。しかし、追撃はここまで。最後までしっかり歩き続けたホクショウユウキが、先頭で荷物を運び切りました。0秒7差の2着にニシキエーカン、さらに2秒差の3着にテンカムソウが入りました。

ホクショウユウキは、牝馬戦のクインカップを除く4歳シーズン重賞を総なめ。さらに3歳との混合重賞のはまなす賞を制して、“四冠”を達成しました。障害、末脚ともに確実で、危なげないレース運びには風格さえ漂わせます。今後さらに重量が積まれることにはなりますが、不安よりも期待の方が大きく感じられます。さらなる成長と飛躍が楽しみです。

2着のニシキエーカンは多少勝ち切れない面がありますが、12年のイレネー記念を制し、ばんえい菊花賞、ばんえいダービーでともに2着しているように、力は世代トップクラス。小差に迫った今回のレースぶりも悪くなく、今後も随所で活躍してくれるに違いありません。

テンカムソウはこれが18回目の3着。2着も16回あり、地力の高さは折り紙付きです。あとは、それを証明するタイトルがほしいところ。ただ、障害でも安定した登坂を見せるだけに、馬場や展開次第でチャンスが巡ってくることでしょう。

※ レース情報の内容につきましては、ばんえい競馬情報局より抜粋しています。